

地域連携通信

vol.3
2025
11月発行

Jichi Medical University
Saitama Medical Center



センター長

遠藤 俊輔



副センター長

救命救急センター長

守谷 俊

クラウドファンディング 目標達成の御礼

このたびは、“自治医大さいたまの命を運ぶ希望の車。未来を守り続ける救急車導入”プロジェクトに、心温まるご支援を賜り、誠にありがとうございました。皆さまのあたたかいお気持ちと力強いご支持のおかげで、1,000件を超える寄付をいただき、当初掲げていた目標を大きく上回る成果を収めることができました。本プロジェクトを無事に大成功のうちに終えることができましたのも、ひとえに皆さまのお力添えのおかげです。改めまして、心より深く御礼申し上げます。

本プロジェクトは、“地域で人々の命を守る救急医療の新たなかたち”を実現するため、地域社会と市民、そして医療現場を救急自動車と結ぶインフラを築く挑戦でした。皆さまからのご支援は、まさに地域に灯る大きな希望となりました。いただいたご寄付は、自治医科大学附属さいたま医療センターにおける病院救急車および搭載備品の整備に活用させていただきます。これにより、患者様やご家族が快適で安心できる移送環境を確保できるよう準備を進めております。車両のデザインも、既存のドクターカーやエクモドクターカーと調和する形で決定いたしました。

この病院救急車は、当センターで治療を受けた後、全身状態は安定しているものの継続入院が必要な中等症の患者様を中心に近隣の連携病院へ転院していただく際にまずは活用されます。転院を促進することで受け入れベッドを確保し、より多くの救急患者様を積極的に受け入れる体制を築いてまいります。まさにこの車両は、地域の「最後の砦」として救急医療を支える大切な一片となります。

ここからが新たなスタートです。近隣の先生方や住民の皆様にご信頼され、いつでも安定した救急医療を提供できる施設として、皆さまからの思いを胸に、未来へと責任を果たしてまいります。



contents

クラウドファンディング 目標達成の御礼 … 1
診療科紹介 一般・消化器外科 … 3

診療科紹介 消化器内科 … 2
オンライン予約案内 … 4

消化器内科



2025.9.6 日本消化器病学会関東支部第386会例会

消化器内科 科長 眞嶋 浩聡

消化器内科は、当センター開設時（平成元年）に内科に属する消化器科としてスタートしました。紆余曲折はありましたが、優秀な人材が着実に増え、現在では20人を超えるスタッフで診療にあたっています。早期癌の内視鏡治療を積極的に行っており、県内屈指の胃癌、大腸癌、食道癌の治療数を誇っており、多くの病院から患者様をご紹介いただいています。2024年には胃癌160例、大腸癌133例、食道癌53例を内視鏡的に治療しました。膵臓癌は発見の難しい難治の癌であり、2023年には部位別癌死亡数が胃癌を抜き、第3位となりました（1位肺癌、2位大腸癌）。EUS（胆膵超音波内視鏡）、ERCP（内視鏡的逆行性胆管膵管造影）、EUS-FNA（超音波内視鏡下穿刺吸引法）などを駆使して診断・治療にあたっています。また、2024年に膵癌ドックも開設しました。膵癌の家族歴のある方など、膵臓に不安をお持ちの方がいらっしゃいましたら是非ご紹介下さい。肝臓ではC型肝炎は内服薬でウイルスを駆除できるようになってきました。ただ、陽性でもそのまま放置されている方がまだ少なからずおられます。B型肝炎は駆除の方法はまだ確立されておらず、核酸アナログ製剤で抑え込む治療が主体となります。最近、抗癌剤治療や免疫抑制療法の際のB型肝炎ウイルス再活性化が問題となっており、注意

が必要です。また、近年増加しているMASH（代謝異常関連脂肪性肝炎）、MASLD（代謝異常関連脂肪性肝疾患）も大きな問題です。肝臓癌に対しては肝動脈化学塞栓術（TACE）、経皮的ラジオ波焼灼術（RFA）、免疫チェックポイント阻害薬・分子標的薬を用いた化学療法などによる集学的治療を多数行っています。最近、増加している炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病など）の診療も数多く行い、中等症から重症例に対しては数多くの生物学的製剤の中から患者様の生活様式も加味した上で最善の薬剤を選択し、治療にあたっています。

当センターの消化器内科と消化器外科の垣根は低く、毎週カンファランスを行って治療方針を相談し、患者様にとって最良の医療を提供しています。消化器に関することでご不明な点などがありましたら、是非ご紹介・ご相談下さい。当センターでアセスメントを行い、病病連携、病診連携を図りながら、患者様にとってベストな方針を検討し、提示させていただきます。



一般・消化器外科



一般・消化器外科 科長 力山 敏樹

自治医科大学附属さいたま医療センター一般・消化器外科は、年間約1,100件の手術（うち緊急手術約150件）を行い、食道・胃・大腸・小腸・肝胆膵に加え、乳腺・甲状腺と幅広い領域に対応しています。

腹腔鏡手術やロボット支援手術などの低侵襲治療を積極的に導入しており、症例数は年々増加しています。特にロボット手術は近年右肩上がりで増加しており、より安全で精度の高い治療を提供できるよう取り組んでいます。

また肝胆膵手術や食道切除といった高難度手術も数多く行い、手術室・病棟スタッフらと連携し、合併症の少ない質の高い周術期管理を心がけています。

さらに直腸癌領域では、術前化学放射線療法を強化したTotal Neoadjuvant Therapy（TNT）により、永久人工肛門を回避できる可能性を探る取り組みも進めています。

当科では、がん治療において手術のみならず、化学療法、放射線療法、緩和ケアを含めたトータルケアを重視しています。臨床研究や基礎研究にも積極的に取り組み、より有効な治療法の確立に向けた取り組みを進めています。

救急を含め紹介症例はできる限り受け入れる方針で、当科医師に直接つながるホットラインを設け、地域の先生方からのご相談に迅速に対応できる体制を整えております。



ホットライン（一般・消化器外科スタッフが対応いたします） ☎ 048-782-7198

お知らせ

この度、医療機関向けのオンライン予約システムを導入する運びとなりました。使用方法等詳細につきましては書面にて改めてご案内させていただきます。

自治医科大学さいたま医療センター オンライン予約

以下よりご希望の診療科をご選択ください

診療科を選択します

該当の項目をお選びください

一般・消化器外科

心血管外科

消化器内科

呼吸器外科

皮膚科

歯科口腔外科

このURLは患者様には公開されないようにお願い致します

自治医科大学附属さいたま医療センター呼吸器外科は、地元医師会の諸先生方のご指導とご支援を賜りながら、肺癌のみならず気胸や縦隔腫瘍、重症筋無力症などの疾患に対し、より安全で確実な医療を提供しております。

ご紹介を希望される医師名を選択してください

呼吸器外科 遠藤俊輔

希望の日時をお選びください

医師名を選択します

予約日時を選択します。
前日15時まで
受付予定です。

前週 翌週 日

2025年9月~10月

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 29 | 30 | 01 | 02 | 03 | 04 | 05 | 06 | 07 | 08 | 09 | 10 | 11 | 12 |

09:00

9:00

9:20

9:40

下記項目を入力してください

本予約ページは患者様には公開されませんようお願いします。

次の予約完了画面をもって予約は確定いたします。

予約枠は 月曜日9:00~9:10 火曜日9:20~9:30 水曜日9:40~9:50

医療機関名(貴院の名称をご記入ください)

電話番号(医療機関)

患者氏名(漢字入力)

患者姓(フリガナ)

患者名(フリガナ)

生年月日

電話番号(患者様)

紹介状・検査データ

(紹介状は土日祝日を除く、予約希望日の前日15:00までにアップデートをお願い致します)

ファイルを選択

(最大10件)

紹介状のアップロードをお願いします。
(紙媒体のみとなります)

※画面は現段階のもので変更することがあります。



自治医科大学附属さいたま医療センター

〒330-8503 さいたま市大宮区天沼町1-847 TEL.048-647-2111(代) FAX.048-648-5166 <https://www.jichi.ac.jp/center>